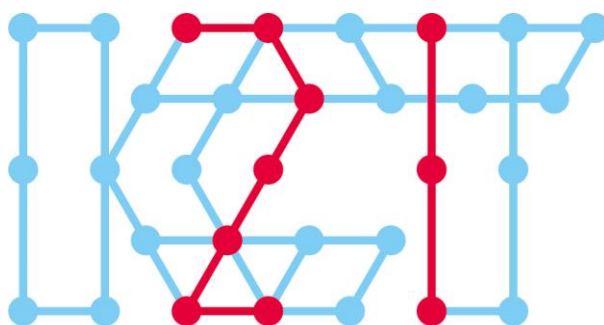


教育における ICT の活用を推進する「ICT CONNECT 21」に 日本数学検定協会が参画

～eラーニングコンテンツの提供など、数学の学習機会拡大をめざす～



ICT CONNECT 21

ICT CONNECT 21 ロゴ

公益財団法人日本数学検定協会（所在地：東京都台東区、理事長：清水 静海）は、2015年5月から教育における ICT（情報通信技術）の活用を推進する団体「ICT CONNECT 21（みらいのまなび共創会議）」（会長：赤堀 侃司）に参画いたしました。

ICT CONNECT 21 は、「学習・教育オープンプラットフォーム」に関連する技術の標準などを策定し、その普及を図り、教材コンテンツや教育 ICT サービスなどの流通や利活用を促進することで、誰もがいつでもどこでも多様な学習・教育サービスを受けることができる環境の実現をめざしています。また、利用者とサービス提供者双方の利便性の向上、ならびに教育の情報化の一層の進展に寄与するとともに、社会の発展に貢献することを目的としています。

現在当協会では、算数・数学に関する eラーニングやデジタル書籍などの学習コンテンツの充実を図り、学校教育や生涯学習社会における、学習機会の拡大に貢献できるよう研究を進めております。

当協会は、アライアンス団体として ICT CONNECT 21 の活動に参画することをつうじて、さまざまな企業・団体と連携し、ともに技術力を駆使することで、より多くの方々に算数・数学の学習機会を提供できるよう努めてまいります。

【ICTCONNECT21 概要】

名 称：ICT CONNECT 21（みらいのまなび共創会議）
所 在 地：〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル8階（日本教育情報化振興会内）
会 長：赤堀 侃司（一般社団法人日本教育情報化振興会会長）
設 立：2015年2月2日
公式サイト：<https://ictconnect21.jp/>

【実用数学技能検定について】

「実用数学技能検定」（後援＝文部科学省）は、数学・算数の実用的な技能（計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明）を測る検定で、公益財団法人日本数学検定協会が実施している全国レベルの実力・絶対評価システムです。おもに、数学領域である1級から5級までを「数学検定」と呼び、算数領域である6級から11級、かず・かたち検定までを「算数検定」と呼びます。第1回を実施した1992年には5,500人だった受検者数は、2006年以降は年間30万人を超え、実用数学技能検定を実施する学校や教育機関も16,000団体を超えました。以来、累計受検者数は450万人を突破しており、いまや数学・算数に関する検定のスタンダードとして進学・就職に必須の検定となっています。日本国内はもちろん、フィリピンやカンボジア、インドネシア、タイなどでも実施され（過去5年間でのべ20,000人以上）、海外でも高い評価を得ています。

※受検者数・実施校数はのべ数です。

【法人概要】

法 人 名：公益財団法人 日本数学検定協会
所 在 地：〒110-0005 東京都台東区上野5-1-1 文昌堂ビル6階
理 事 長：清水静海（帝京大学教育学部初等教育学科長・教授）
会 長：甘利俊一（理化学研究所脳科学総合研究センター 特別顧問、東京大学名誉教授）
設 立：1999年7月15日
事業内容：（1）数学に関する技能検定の実施、技能度の顕彰及びその証明書の発行
（2）ビジネスにおける数学の検定及び研修等の実施
（3）数学に関する出版物の刊行及び情報の提供
（4）数学の普及啓発に関する事業
（5）その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 日本数学検定協会 広報宣伝部
T E L：03-5812-8342
F A X：03-5812-8346
E-mail：kouhou@su-gaku.net
U R L：<http://www.su-gaku.net/>